

坂祝町 全地区

令和6年度

【地域の概要】

- 岐阜県の中南部に位置する約4km四方の町で、町域面積は1,287ha、そのうちの農用地面積は216haである。
- 町の中心にある郷部山をとり囲むように、東部・北部の地区は、畑地帯として、北東部・北西部の地区においては水田地帯と集团的優良農地があり、その多くは農用地に指定され、農地として保全されてきたが、近年では、町の北部に国道248号バイパスが開通し沿道では、遊戯施設、大規模事業所、大型店舗（スーパー）が建設されている。
- 農振農用地のほとんどが兼業農家による耕作地であるが、高齢化、農業後継者等の問題により、今後は管理困難な農地の増加が懸念される。

①取組開始前の状況や課題

状況

○人・農地プランは同じ担い手が幅広く耕作していることから町内8地区を1本にまとめた。

○中心経営体は21経営体あるが、兼業や1ha以下の担い手が多い。

課題

○地域の高齢化が進み、大規模な受け手の営農組織でも後継者不足が課題となっている。



協議の場の様子

②取組内容

戦略会議（令和6年6月17日）

○県農林事務所、JA、農業委員会、農業会議など10人を参集。
人・農地プランと同様全地区を一本の計画とし、農振農用地を基に地域計画の範囲を設定。
細目書から担い手を洗い出すとともに連携会議の参集者を協議した。

連携会議（令和6年7月23日）

○中心経営体10経営体、県農林事務所、JA、農業委員会、農業会議など17人を参集。
町から地域計画策定に向けた説明、現況地図を使って拡大意向や地域の課題を把握した。

協議の場（令和6年12月23日）

○中心経営体、地区の農業委員、県農林事務所、JA、農業委員会、農業会議などを参集。
担い手や所有者の参集については地区の委員から呼びかけ・市町村HPで掲載した。
地権者の意向で作業委託が多く、権利設定が行えないとの担い手の意見があり、再度町や農地中間管理機構を交えた説明を行うことを検討。
担い手と関係者が現況や課題を把握することができた。

③今後の展開と方向性

農地中間管理事業を活用した農地集積の推進

○今後は年1回見直しを行い、地域計画に沿って全作業委託の農地での貸借の権利設定や農地中間管理事業による貸借を勧めていく。